

# 令和3年度 第2回東御市総合教育会議 会議録

---

## 1 日 時

---

令和4年(2022年)2月22日(火) 午後3時30分から午後4時30分まで

## 2 場 所

---

公室

## 3 議 題

---

(1)学校給食施設の今後のあり方について

## 4 出席者

---

○市長 花岡利夫

○教育長 小山隆文

### ○委員

教育長職務代理者 下村征子

委員 小林経明

委員 直井良一

委員 五十嵐英美

### ○その他

坂口教育次長、山邊教育課長

土屋学校教育係長、土屋学校教育係主査

## 会議録

---

坂口教育次長

ただ今から令和3年度第2回東御市総合教育会議を開催します。  
はじめに市長、教育長からごあいさつをお願いします。

花岡市長

皆様大変お世話になっております。

新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止が3月6日まで延長となりました。長野県としては高止まりの状態、上田地域の陽性者数は最大を記録したところでございますが、なんとかピークアウトさせたく努めているところでございます。市民病院において陽性者がありましたが、外からの感染を封じ込めることができ、また保育園に関しても園内の感染を止め、本日から通常の運営となっております。いずれにしましてもクラスター化を防ぐために各所に対応していただいた結果、ほぼ収まりつつあると感じております。

5歳から11歳までのワクチン接種が新たな課題となっております。小さい子が罹る例も多くあることから、多くの方が接種を希望しているという話も聞いております。3月には接種を始めたいと考えております。また、学校での陽性者の発生等、家庭内感染の例が非常に多くありますが、市民の皆様のおかげで家族内での感染のみで済んでいると強く感じております。3月6日のまん延防止を安心して外せる状態を市としても作っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本日は「学校給食施設の今後のあり方について」を事務局より説明させていただきながら進めていきたいと考えております。なお、和児童館の工事はウッドショックの中で頑張っていたしており、もうすぐ完成予定となっております。滋野児童館につきましても引き続き進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

小山教育長

皆様ご参集を頂き誠に有り難うございます。

先程の2月度定例教育委員会に続きまして、只今から第2回総合教育会議を始めさせて頂きませす。各教育委員の皆様方には、お疲れの所、大変恐縮ですが宜しくお願い致します。

又、花岡市長には、公務ご多用の中、本会議の招集並びにご出席を頂き誠に有り難うございます。2/17(木)の新聞では、阿部知事が、「まん延防止等重点措置」の2週間延長を政府に要請をしたこと、更に、翌2/18(金)の新聞では、政府も、長野を含む17道府県の「まん延防止等重点措置」を延長する方針を固めたという報道がありました。

ごく一部とはいえ、本市の児童生徒からも感染者が出ておりますので、引き続き、感染防止対策に力を入れて行く必要があるかと受け止めております。特に、高齢者施設や学校への対策強化が謳われていたり、高校受験や卒業式等、大事な取組や重要な行事も控えていたりしますので、

マスクの着用や手洗い、消毒や換気、3密回避などの基本を大事にして参りたいと考えております。

本日は、「学校給食施設の今後のあり方について」を議題とさせていただきますが、感染防止対策もあり、できるだけ時間短縮で進めさせていただきますので宜しくお願い致します。

坂口教育次長

ありがとうございました。次に議題に入らせていただきます。(1)学校給食施設の今後のあり方について、事務局から説明させていただきたいと思っております。

山邊教育課長

資料をご覧ください。今回長寿命化計画に合わせた取り組みとして、自校方式に準じた形で滋野小学校の給食室と北御牧学校給食センターとの集約化を目指した整備についてご説明いたします。(内容説明)

花岡市長

北御牧学校給食センターはドライシステムという仕様になっているとのことで、最近ではこの形が推奨されてきております。老朽化や衛生管理等の課題を踏まえながら、集約しながらも自校方式の温かみを残すための形を選択していきたいと考えております。

下村委員

北御牧学校給食センターの調理能力等を加味すると、集約化は令和7年から着工ということでしょうか。

花岡市長

令和6年に設計し、7年から着工ということも考えられると思っております。平成26年に学校給食センターを建設してからわずか10年ではありますが、必要不可欠な改修は考えていかなければならないと思っております。

直井委員

北御牧学校給食センターを建設した当時は補助金も活用していましたが、集約化の際にも増改築の必要があるということでしたら、それに合う補助金等があれば活用していただきたいと思っております。

花岡市長

時代に則した補助金も新たにあるかもしれませんので、調査してまいります。

小山教育長

北御牧学校給食センターの増改築の必要性について、詳細な説明をお願いします。

山邊教育課長

一番の課題としましては、調理した給食を学校まで運ぶ際のコンテナを置く場所が足りなくなってしまうということです。

小山教育長

コンテナや調理機器を設置するために増築も検討が必要ということですね。

五十嵐委員

子どもにとって給食というものは身近なものですので、やはり自校給食の特徴でもある給食室の雰囲気を感じることが出来ることは大切なことだと思っています。集約するということであれば見学などで学びの場としても活用していただきたいです。

花岡市長

滋野小学校の子どもたちや教職員、保護者の方にも理解してもらえるように視察や説明会などの機会を作っていきたいと考えています。

坂口教育次長

滋野地区や北御牧地区の給食センターの方式を知らない方にも丁寧に説明していきたいと考えています。

小林委員

現在北御牧学校給食センターでは北御牧小学校と北御牧中学校の給食を作っておりますが、小学校と中学校の献立は異なっているのでしょうか。

小山教育長

献立は同じで、量が違うのみとなっております。

小林委員

今回の説明は北御牧学校給食センターと滋野小学校の集約化でしたが、例えば中学校同士の給食を集約化させるなど柔軟な考え方も出来るのではと思います。他にも滋野小学校の位置関係として東部中学校との組み合わせなどは検討されておりますか。

花岡市長

他の学校も老朽化に伴う改修がこれから必要になってきますし、米飯など地元との繋がり等もありますので学校の組み合わせは検討事項の一つになるかと思います。東部中学校は市内の中

でも比較的新しい施設であり、改修はもう少し先の話になる可能性が高いので、滋野小学校は築年数のことを考えると結論がどうなるにしろ早めに方針を出しておかないといけないかもしれません。他の学校につきましても合わせて考えていきたいと思えます。

坂口教育次長

ありがとうございました。以上で令和3年度第2回総合教育会議を閉会とさせていただきます。